

年 度 評 価 シ ー ト （令和7年度）

課名 観光国際課

施設の名称 静岡市東海道広重美術館	指定管理者名 特定非営利活動法人 ヘキサプロジェクト
1 履行状況	
(1) 目標達成 ア 利用者満足度 目標値80%、実績値88.4%（前年度88%） 達成率110.5%（前年度比100.5%） 【参考】令和元年度（コロナ前） 実績値73.2%、達成率91.5% イ 利用者数 目標値 24,358 人、実績値 33,228 人（前年度 29,610 人） 達成率 136.42%（前年度比 112.2%） 【参考】令和元年度（コロナ前） 実績値 19,955 人、達成率 72.9% (2) 人員配置状況 正規職員 5 人 パート 2 人 (3) 業務実施状況 各種事業について、業務仕様書及び事業計画書に従って、適切に実施されている。 主な事業と参加者数は以下のとおり。 ア 展覧会事業 (ア) 諸国漫遊 ～浮世絵の旅～ (会期：4/1～7/13（Part 1～3）、入館者数：10,847人) (イ) 流行の仕掛人 ～蔦屋重三郎と版元の仕事～ (会期：7/15～9/15（Part 1～2）、入館者数：6,351人) (ウ) 『歌川広重「東海道五拾三次之内」と やまむらともよ「蛙と兎の東海道五十三次」』 (会期：9/17～11/16（Part 1～2）、入館者数：7,201人) (エ) 三代歌川豊国生誕240年記念 三代豊国の東海道 (会期：11/18～1/25（Part 1～2）、入館者数：4,128人) (オ) 三人の広重 (会期：1/27～3/31（Part 1～2）、入館者数：4,701人) イ 関連事業及び教育普及事業 (ア) ギャラリートーク：11回、193人 (イ) 団体向け展示解説：5件、213人	

(ウ) 講演会：1回

(葛屋重三郎の仲間 山東京伝の仕掛～滑稽図案とアルファベット～)、19人

(エ) 出張講座：8件(学校4件・一般4件)、147人

ウ その他

(ア) 宝探しゲーム(4/20)

(イ) 富士市 市民歴史講座(7/2)

(ウ) 静岡市歴史博物館 企画関連トーク(8/11)

(エ) ザ・ロイヤルエクスプレス「東海道・富士クルーズトレイン」

(11/7、11/28、12/5、12/12、12/19)

(オ) 絵解きまち歩きガイド研修(11/8)

(カ) 街道博2025 浮世絵で旅する東海道(1/28～2/23)

(キ) ゆいまるプロジェクト主催の「ゆいまるフェア」への協力(3/1)

【検証・分析等】

展覧会事業では、浮世絵作品を所蔵する他施設からも作品を借用し、浮世絵が流行した江戸時代の交通、名所・名物、暮らしなどに焦点を当てた企画展を開催するなど学芸員の調査・研究の成果を最大限活用し、多様な切り口で浮世絵の文化と美術館の魅力の発信に取り組んだ。その結果、入館者数の目標値を大幅に超えて達成した点は非常に評価できる。

また、地域の施設・団体が協力して由比地域の活性化に取り組む「ゆいまるプロジェクト」に設立当初より参加しており、前年度に引き続き、プロジェクト主催のゆいまるフェア(3月)のイベントに協力した。さらに、ザ・ロイヤルエクスプレス(東急株式会社)の車両内で浮世絵展示に協力したことは、高単価な客層に対して、浮世絵や街道観光の魅力を訴求することにつながり、さらなる来館者数の増加や第5次総合計画の目指す市内の観光消費額の拡大も期待できることから、大いに評価できる。

【確認結果】

○：業務仕様書及び事業計画書に従って概ね適切に履行されている。

2 市民(利用者)からの意見・要望の内容とその対応状況の評価(クレーム対応 等)

【具体的な意見・要望の内容と対応状況】

(1) 意見：他の来館者がうるさかった。表示を大きくしてほしい。

対応：私語に関する注意喚起はエントランス入り口と大展示室入り口に掲示しており、状況に応じてスタッフによる注意喚起を行っている。追加で「館内での私語は慎んでください」の表示を掲示した。また、こまめに状況を確認し、問題が起こらないように注意喚起を継続していく。

(2) 意見：展示室が暗い。LED化を希望。

対応：覗きケースの蛍光灯は展示環境の関係で照明を絞っており、現行の機器ではちらちら光がぶれてしまう。令和8年度の改修にて対応予定。

【検証・分析等】

利用者からの意見・要望に対しては、概ね適切に対応し、即時の対応が困難である要望に対しても前向きに対応・検討するなど、良好な対応がなされているといえる。また、ハード面に関する要望については、令和8年度に設備改修を実施予定。

【確認結果】 ○：適切に対応し、改善すべき事項は対応済み、又は改善に向けて作業中である。	
3 市民（利用者）へのアンケートや満足度調査の状況評価	
(1) 利用者満足度調査 満足度向上のため、来館者を対象にアンケート調査を実施した。 【調査結果】 回答者総数：1,409件、「とてもよかった」「よかった」と回答した人数 ① 展覧会の満足度92.8%（前年度93.6%） ② その他常設展示の満足度84.1%（前年度82.4%） 【確認結果】 ○：調査の結果が概ね良好である。	
(2) 市民アンケート 施設の認知度を調査するため、静岡市が設置している観光施設4施設（由比本陣施設、清水港船宿記念館、坐漁荘記念館、三保真崎グラウンドゴルフ場）に来館、入場した人を対象にアンケート調査を実施した。 【調査結果】 回答者総数：2,174件、当該施設を知っていると回答した人数：1,046人 認知度：48.1%（前年度46.3%） 施設の認知度は48.1%と昨年度を上回った。所管課も協力して公共施設等へのチラシ配架など広報に取り組んでいるが、指定管理者には、引き続き認知度向上及び集客に向けた取組の工夫を期待したい。 【確認結果】 ○：調査の結果が概ね良好である。	
4 指定管理者の経理状況の評価	
指定管理業務の収支状況については、利用者数の大幅による増加による収入増があったものの概ね予算のとおりにより執行されている。 【検証・分析等】 指定管理業務の収支状況については、概ね予算のとおりにより執行されており良好である。 【確認結果】 ○：安定的な施設運営を行っており、また今後も継続できる見込みである。	
5 総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況 など）	
前年度事務事故発生の有無	無
前年度モニタリング調査における改善協議事項の有無	無
本施設は、同一敷地内の由比本陣施設とともに、静岡市固有の観光資源である東海道「二峠八宿」のひとつの由比宿に位置することから、街道観光の拠点の一つとして重要な役割を担う施設であり、清水港に来港するクルーズ船客の目的地として多くの観光客が訪れる重要な観光施設である。	

企画展の内容は、本市の事業の趣旨を踏まえた内容となっているだけでなく、他の施設・団体との連携を展覧会事業及び施設運営に活かし、様々な切り口で幅広い層への浮世絵文化の魅力を発信し、目標の入館者数を達成したことは非常に評価できる。

また、教育普及事業では、「スクールプログラム」や「出張講座」を利用者の希望に合わせ工夫するなど、利用者の満足度向上に努めるとともに、市内だけでなく富士市、富士宮市といった市外の小中学校にも広報活動を行うなど、本施設のファンづくり、幅広い世代への浮世絵文化の魅力に触れる機会の提供を実施し、広く普及活動を行っている点も評価できる。

令和7年度は、指定期間の5年目であり、現指定管理者による指定管理は通算13年目となるが、清水港に入港するクルーズ船を含むインバンドの影響もあり、過去最高の利用者数を記録している。

今後は、さらにインバウンド客の獲得にも力を入れて、さらなる入館者の増加に期待したい。

【評価結果】

○：良好な管理運営であった。

※事務事故が発生したとき及びモニタリング調査において改善に向けた協議があったときは、必ず改善状況を記載すること。